

所管課		都市建設部道路管理課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)			施策分野(節)			施 策										
	第4章 安全安心都市			07 交通安全			02 交通安全環境を整備する										
	事業：移動円滑化道路整備事業													整理番号	1106		
目的	高齢者や身体障がい者、妊産婦をはじめ誰もが安全・快適に移動できる道路環境の整備促進を図る。																
目標	河内長野駅前重点整備地区の道路環境の整備促進のため、2件の整備をめざす。																
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		3,388		コスト情報・評価	総コスト(千円)		4,578		総合評価	B	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		3,388		内訳	事業費		3,388			効率性		A			
		国府支出金		0			人件費		1,190			有効性		B			
		地方債		0			公債費		0			地形上、整備計画の実現が難しい箇所がある。					
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		41								
							世帯あたり(円)		97		評価理由						
	貢献度	施策に対する事業貢献度		B		根拠	地形上、整備計画の実現が難しい箇所がある。										
今後の方向性	現行事業の継続を基本とするが、必要に応じて計画を見直す。																

事業優先順位		1	細事業:移動円滑化道路整備事業					整理番号	01		
目的		誰もが安全・快適に移動できる道路環境の整備促進を図る。									
目標		河内長野駅前重点整備地区の道路環境の整備のため、2件の整備をめざす。									
事業実施主体		委託	事業開始年度	平成16年度	根拠法令	高齢者、障害者等の移動円滑化の促進に関する法律 第10条 第3項					
事業費・財源				平成24年度	比 較	コスト情報・従事職員数				平成24年度	比 較
	事業費(決算額)(千円)			3,388			総コスト(千円)			4,578	
	財源内訳	一般財源		3,388			内訳	事業費		3,388	
		国府支出金		0				人件費		1,190	
		地方債		0				公債費		0	
		その他特定財源		0				一人あたり(円)		41	
				0				世帯あたり(円)		97	
				0			参考	職員数(人)		0.15	
				0				再任用職員数(人)		0.00	
今後の方向性		現行事業の継続を基本とするが、必要に応じて計画を見直す。									
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	高齢者や身体障がい者、妊産婦をはじめとする市民						
	A	A	B								

事業：移動円滑化道路整備事業

1. 移動円滑化道路整備

平成14年3月に策定した「河内長野市移動円滑化基本構想」では、南海・近鉄河内長野駅周辺を重点整備地区として位置づけ、バリアフリー整備における基本方針を定めた。

重点整備地区は、駅舎や駅前広場をはじめ周辺道路等におけるバリアフリー化を重点的かつ一体的に推進するなど、優先的に整備を進め、高齢者や身体障がい者、妊産婦等、誰もが自由に移動できる交通環境をめざすものである。

この基本構想を踏まえ、平成15年3月には「河内長野市移動円滑化道路特定事業計画」を定め、この計画においては、重点整備地区において「バリアフリーの歩行空間ネットワーク」を構成する経路を特定経路・準特定経路・関連経路として区分し、経路ごとに整備内容や整備期間等について検討を行った。

本事業は、この「河内長野市移動円滑化道路特定事業計画」に基づき、各経路についてバリアフリー化を進めており、平成24年度は、関連経路である西代古野1号線等について整備を実施した。

細事業：移動円滑化道路整備事業

1. 移動円滑化道路整備工事

「河内長野市移動円滑化道路特定事業計画」に基づき、歩道切り下げ3箇所、歩道舗装22.2㎡、車道舗装460㎡、点字誘導タイル6.6mを整備した。

工 事 名	工 事 費 (円)	工事概要
市道西代古野1号線外2線歩道切下げ工事	3,388,350	西代古野1号線 施工延長 L=25.2m 西代3号線 施工延長 L=71.6m 長野駅前交通広場線 施工延長 L=6.6m
合 計	3,388,350	